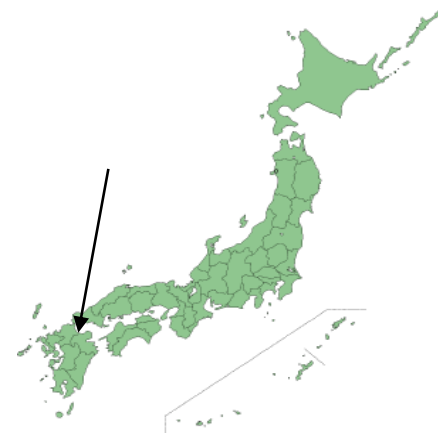




行政と住民が一体となった地域のバイオマス有効利用の推進



築上町の概要



人口 20,625人(8,940世帯)

総面積 119.34 km²

耕地 20.80 km²

宅地 4.69 km²

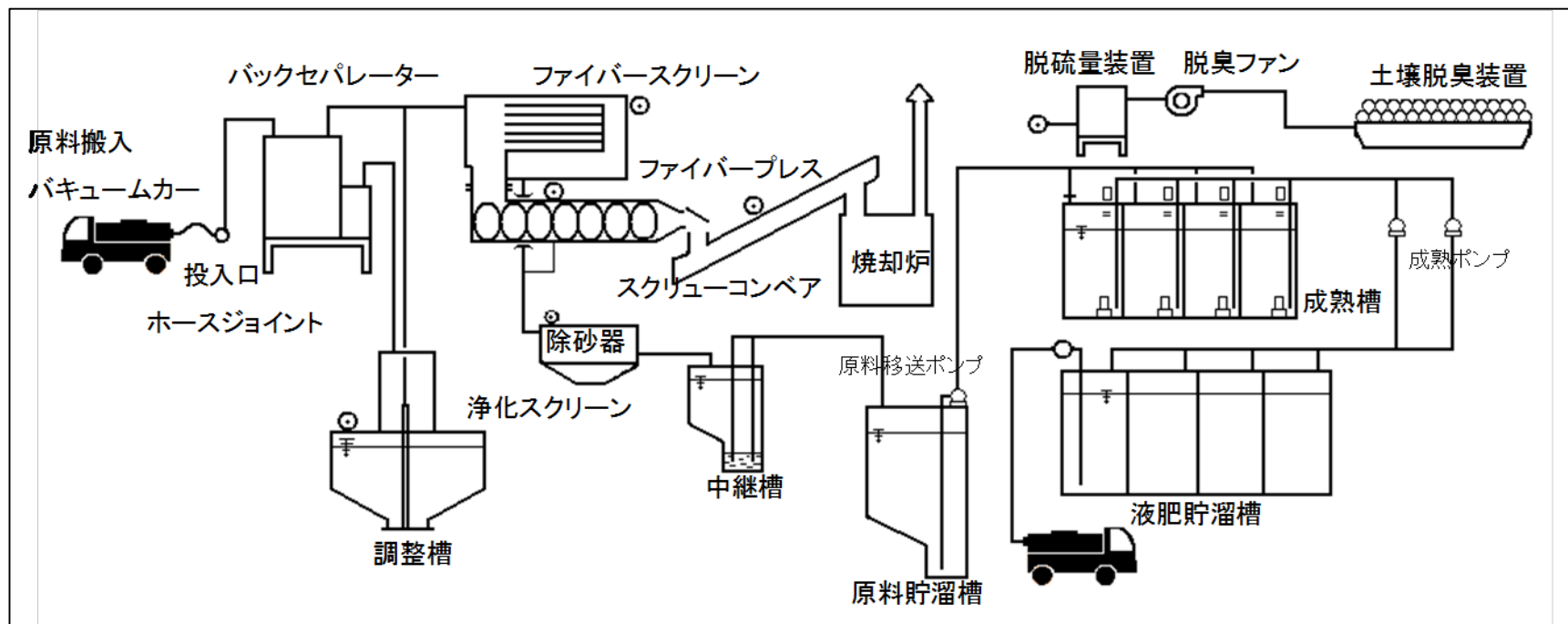
森林 72.77 km²

バイオマス利用 —人と物の循環—

家庭から出る「し尿・浄化槽汚泥」を好気発酵・液肥化。その農業利用に15年の経験と実績があります。



好気性発酵・液肥化プラント





液肥成分 (kg/t)

T—N	2.0
T—P	0.5
K	0.5
Fe,Mn,Zn,Cu,Mo,B··	















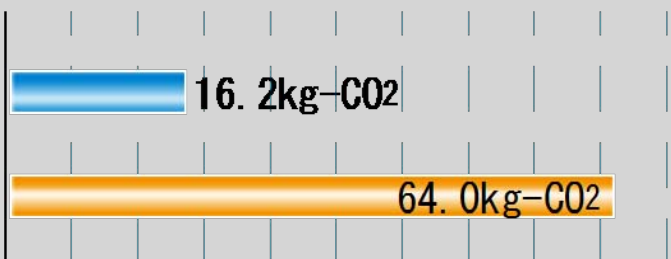




経済・環境コストを最小限にできる技術

処理で発生するCO₂(1KL当たり)

築上町 処理



一般処理
(高負荷脱室処理)

処理費用(1KL当たり)

築上町 処理



一般処理
(高負荷脱室処理)

※散布コストを含む

液肥商品(農産物)の付加価値増加(1)

ナタネ栽培と食用油
「菜の花油」の生産



液肥商品(農産物)の付加価値増加(2)

多収量米“ミズホチカラ”生産
飼料化、鶏卵・鶏肉生産



普及啓発事業

学校給食へ活用



町民シンポジウムで発表



食 育



循環授業



近隣企業との協業



海外への技術協力



行政の取組み

- ・ 平成15年度、NEDO、地域新エネルギービジョン策定等事業 基礎調査
- ・ 平成16年度、NEDO、地域新エネルギービジョン策定等事業 フィービリティ・スタディ「菜種栽培とBDF事業による循環農業」
- ・ 平成18年度、経済産業省、バイオマス等未活用エネルギー事業調査事業「築上町米エタノール化地域モデル ―水田を油田にするための事業構想―」
- ・ 平成18年度、NEDO、地域新エネルギービジョン策定等事業、重点調査「生ごみのエネルギー利用と液肥化事業（バイオガスプラント活用事業）」
- ・ 平成19年5月、バイオマスタウン構想公表（上記NEDO事業と同時に策定、その後、バイオマス・ニッポン総合戦略推進会議に申請）
- ・ 平成20年度、生ごみ分別収集と液肥利用の実施予備調査（RDF施設と液肥化利用の比較）
- ・ 平成20年度、築上町イエロープラン策定委員会、地域資源作物の地域循環としての菜種栽培